

CASBEE 柏2014年版
【仮称】柏の葉キャンパス134街区 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE 柏2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE 柏2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温	庇の採用、屋根・外壁部に断熱材を施工							
2 外皮性能								
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 屋光利用								
1 屋光率								
2 方位別開口								
3 屋光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 屋光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材を全面的に使用							
2 アスベスト対策								
4.2 換気								
1 換気量	換気量1.4倍以上							
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御	喫煙室を設け、天井裏まで区画しかつ負圧に保っている							
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					3.0
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観	天井高3.6m以上							
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画	照明・内装計画の一体化、内観パースによる事前検証							
1.3 維持管理		3.0	1.00					
1 維持管理に配慮した設計	トイレ床壁タイル、風除室扉1m以上確保、防水床材の使用、開口部水切り	3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	掃除用具室、SKゴミ庫確保、厨房等水勾配、平屋・共用部で掃除等容易	3.0	0.50					
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30					3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		4.0	0.22					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	ALC35年	2.0	0.22					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニルクロス20年	4.0	0.11					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種-給水(B)給湯(C)汚水排水(B)で、Eは不使用	5.0	0.22					
6 主要設備機器の更新必要間隔		4.0	0.22					

2.4 信頼性			3.0	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.0	0.30			3.0
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30			
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	1.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.7	0.40			
1	空調配管の更新性		-	-			
2	給排水管の更新性		4.0	0.25			
3	電気配線の更新性	ケーブルラック・天井内転配線の採用	5.0	0.13			
4	通信配線の更新性	ケーブルラック・空配管の採用	5.0	0.13			
5	設備機器の更新性		3.0	0.25			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.25			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57			3.8
1 生物環境の保全と創出			4.0	0.30			4.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.4
LR1 エネルギー			-	0.40			3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.0	0.02			2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12			3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.64 住宅(専有部) -	4.0	0.61			4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		ヒートポンプ型空調機・給湯器、LED照明の採用	4.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)			-	-			
4 効率的運用			4.0	0.25			4.0
集合住宅以外の評価			4.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		5.0	0.50			
集合住宅の評価			-	-			
4.1	モニタリング		-	-			
4.2	運用管理体制		-	-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.2
1 水資源保護			3.8	0.20			3.8
1.1 節水		自動水栓、節水型便器、節水コマ等を積極的に採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		4.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60			2.8
2.1 材料使用量の削減		強度355~440未満	2.0	0.11			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS+仕上で分別容易、配管・配線等が躯体・仕上に打込まれてない	5.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20			3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70			
1	消火剤		4.0	1.00			
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材を使用していない	-	-			
3	冷媒		-	-			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO2 : 81%	3.3	0.33			3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	必要量の駐車・駐輪場、管理用車両の確保、専用出入口を設置	5.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの量を推計、分別空間確保、減量化対策の計画	1.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		-	-			
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.7	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリスト・広告物配慮事項 共に、項目の過半を満たす	4.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			